

### 口蹄疫

# 埋却に国・県有地

## ワクチン、きょうにも完了

家畜の伝染病・口蹄疫問題で政府は25日、殺処分した牛や豚などを埋める場所について、国有地や県有地を提供することを決めた。航空自衛隊新田原基地（宮崎県新宮町）や県立農業大（同県高鍋町）などの公有地などを充てる方針。これまで畜産農家などの私有地に埋められていたが、場所選定に時間がかかったため殺処分が遅れ、ウイルスの蔓延を招いたとの指摘があった。ただ、対象

となった公有地周辺の地元から反発が出る可能性もあり先行きは不透明だ。政府は被害農家に対する低利融資の枠を、現在の100億円から300億円に拡大する検討も始めた。政府の現地対策本部は、発生地から半径10キロ以内の家畜へのワクチン接種が25日中に98%程度まで進んだとの見通しを示した。26日にも接種計画は完了するが、一部に反対農家が残るとみられている。

一方、宮崎県は25日、殺処分した家畜を埋める土地を言い上げると発表した。既に埋め終えた土地も対象とする。

また、同日開かれた衆院農林水産委員会でも赤松広隆農水相が、「誠心誠意、必要と思ふことをやってきたつもりだが、結果としてこれだけ広範囲に広がった」とする。

また、同日開かれた衆院農林水産委員会でも赤松広隆農水相が、「誠心誠意、必要と思ふことをやってきたつもりだが、結果としてこれだけ広範囲に広がった」とする。

自民党は25日、殺処分に絡む費用の全額を国が負担することを柱にした法案を衆院に提出した。公明党も被害を全額補償する内容の法案を参院に提出した。（6、20面に関連記事）

大人気!!  
話題の最新刊  
居残り競争 江戸双雄  
「孤愁ノ春」  
佐伯 泰英  
定価 680円 (税込)  
双葉社